

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	生涯学習の充実	基本事業	生涯学習機会の充実		
部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	情報図書館	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	20歳以上の市民
意図	パソコンに身近に慣れ親しみ、情報収集、伝達などに利用できる市民の底辺拡大を図る。
手段	講習会開催：各種パソコン教室を開催する 申込受付は窓口と電話で実施。 応募者多数の場合は抽選により受講者を決定。 コンピュータ室自由開放：パソコンを学習しようとする市民に自由に機器を使用させる。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	20歳以上の市民	人	97,934	99,410	97,934	99,565	
対象指標2							
活動指標1	各種パソコン講習会開催数	回	54	56	60	54	
活動指標2	コンピュータ学習室開放日数	日	222	185	200	200	
成果指標1	各種パソコン教室受講者数	人	446	470	600	540	
成果指標2	コンピュータ学習室利用者数	人	1,566	1,819	2,000	1,800	
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	1,154	479	474	244	0
正職員人件費(B)		千円	5,851	5,809	5,830	5,702	0
総事業費(A)+ (B)		千円	7,005	6,288	6,304	5,946	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持：現状の目的や方法に変更がなかつ23年度実施する事業
- 見直し：現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止：21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規：23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			